に働き且つ又吾々が提出した要求は取りも直さず
従業員全体の直接利益であり利害の共通して居る
事は火を見るよりも明かなのです。同じ労働者の家族で
あり同じ工場の従業員である皆さん、吾々の此の真の
叫びに同情されそして此の要求の貫徹と勝利に
絶大なる御後援を切望致します

大正十四年十月十六日

東京市三田四国町二ノ七
関東労働評議会本部
大塚製靴工場争議団

10.18

市民諸君に訴ふ!!

芝区露月町大塚製靴工場に於る五月以来従来の請負制度を廃して常傭制とした結果従来一日乃至四五円の日給を受けてゐた我々従業員は其の四五六割を減ぜられ以来生活の苦痛に呻吟しております。而も同工場は陸海軍省の御用を承はれる関係上、本年頃より一般の不景気にも不拘、相当繁忙を来し其の収益も少なからぬものがあるに拘らず従業員に与ふるものと吐息なる金銭を以て我々を虐使し高圧を以て我々の生活に、ソシテ考慮を払はず今日に至りましたこれ、ひとへに我々従業員の忍従のなすところであります。

然るに生活の脅威は益々増加し最早かくの如き賃銀では到底我々の生活を続けることが出来ない程窮乏の極に達しましたので我々従業員は一致団結し去る十日、常傭賃銀三割の値上げを嘆願いたしましたけれども大塚工場主は頑迷にも我々のこの生存上、当然すぎる程当然

財団法人 協調会